

東原 章議員
市民グループ未来の会



市内路線バスに
フリー乗降の導入を

Q 路線バスを利用する高齢者の利便性を高めるとともに、運転免許証の自主返納を促すためにもフリー乗降の導入を求める。フリー乗降が難しいのであれば、フリー降車だけでも検討していただきたい。

A 地域公共交通総合連携計画の中で王越町などの市内北東部や島しょ部などの高齢化の進行している地域においてフリー乗降の検討が示されています。これらの地域において条件を整えば、安全面を最優先に道路状況や利用実態、地元住民の意見を勘案しながら、各種協議会等に諮問していきます。
(建設経済部長)



他市と連携した
有害鳥獣対策を

Q 有害鳥獣が多く生息すると考えられる五色台における鳥獣害対策を他市と協力して広域的に取り組み考えはないか。

A 広域的な取り組みについては、香川県鳥獣被害防止対策協議会が平成27年12月に設置されており、被害対策を推進する中で、捕獲個体の処理や食肉への活用等の課題別に具体的な手法を協議、検討しています。

また、本市で捕獲されるイノシシの半数以上が五色台周辺で捕獲されていることから、高松市と連携した鳥獣害対策が重要だと考えています。
今後は高松市と情報を共有し合うと同時に県や地元の猟友会と協力した被害対策に努めていきます。
(建設経済部長)

質問の主な項目
・本市の遊休資産について
・旧市立病院の跡地利用について

楠井 常夫議員
新政会

新政会



人口減少克服のため、
市民が主体となって情報発信
できる施策は

Q 行政主体の対外的なPRも重要であるが、市民自身が本市の魅力に気づいていないのではないかと。市民一人一人が坂出の良さを知り、内外に情報を発信していくことのできるような施策はないか。

A 市民が主体となって情報発信することの重要性は認識しています。そのためには市民に本市の魅力に気づいてもらうことが第一歩と考え、これまでもホームページや広報紙など機会を捉えて本市の魅力を発信してきたところであり、「古のロマンのまち さかいで」をテーマとしたまちづくりもその一環であります。引き続き市民からの情報発信が活発となるような施策を推進していきます。
(総務部長)

質問の主な項目
・市長対話事業の充実を
・安全・安心のまちづくりについて

高齢者の交通事故抑制に
向けた取り組み状況は

Q 近年、高齢者が関係する死亡事故が多発し、大きな社会問題となっているが、事故防止に向けた取り組みの状況は。

A 事故防止啓発のため、交通指導員を老人大学等の会合に派遣しているほか、反射材の配布、各種団体と連携して自動車運転者へ安全運転を呼び掛ける街頭キャンペーンなどを行っています。

また、法改正により一定の違反行為のあった高齢運転者に対し認知機能検査や講習の受講が義務づけられるほか、県においても65歳以上の方が最新の予防安全技術を備えた自動車を購入する場合の助成制度を設けており、今後、制度の周知を図ると共に、引き続き各種団体と連携して交通安全対策に努めていきます。
(市民生活部長)

